

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DA343／ライフコース論 (Studies on Life Course)		
担当者名 (Instructor)	杉浦 浩美(SUGIURA HIROMI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOC3310	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

「ライフコース」とは個々人がたどる「人生の軌道」である。私たちはいつどのような時代に生まれ、どのような社会的事象に遭遇するかで、人生形成に大きな影響を受ける。同時に、そこには能力や経験といった個人的要因が強く関係する。本授業では、そうした社会的環境と個人的要因との相互作用について考察するとともに、現代社会における多様なライフコースについての理解を深めることを目標とする。

Life course refers to the paths we take in our lives. The era we were born in and social phenomena we encountered have great influence our life trajectories. At the same time, individual factors such as abilities and experiences play great roles too. In this class, students will analyze mutual effects of these social environmental and individual factors. Students will deepen their understanding about various life courses in modern society.

授業の内容(Course Contents)

人は生まれてから死ぬまでの間に就職、結婚、出産、転職など、様々なライフイベントを経験する。そのどれもが個々人の選択であると同時に、時代や社会状況に大きく規定されている。時代とともに変化するライフコースについて、ジェンダー、家族、キャリア、社会的資源といった、いくつかの視点から検討していきたい。ライフコースの各段階にどのような課題があるのか、そもそもライフステージを区切ることは可能なのかなど、現代の変容するライフコースを理解することで、自らのライフコース選択について考える機会にしていきたい。

People go through various life events from birth to death, including employment, marriage, giving birth, and changing employment. Although all of these are individual's choices, they are also largely defined by temporal and social conditions. Students will discuss this changing life courses in passage of time from multiple perspectives, including gender, family, career, and social resource. What issues can be found in each stage of life course? Can we categorize life stages? By understanding these changing life courses in modern times, students will have opportunities to select their life courses.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション
ライフコースとは何か
2. ライフサイクル論からライフコース・アプローチへ
3. 少子高齢社会とライフコース
4. ライフコースから考える家族
5. 親世代のライフコース
6. 祖父祖母世代のライフコース
7. 中間のまとめと中間レポート提出
8. ポスト青年期の出現
9. 就職氷河期世代の現在
10. 直近のライフイベント「就職」について考える
11. ゆらぐライフコース～労働とケアの観点から
12. ライフコースとジェンダー
13. 「コロナ世代」のライフコースについて考える
14. 授業のまとめと期末レポート提出

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

2回のレポート提出を求める。
レポート作成には、授業時間以外の学習や調査の時間が必要となることを、あらかじめ理解しておいてほしい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

中間のレポート(30%)／授業時に提出するコメントカード(20%)／授業への参加状況(10%)／最終レポート(Final Report)(40%)
欠席が3分の1を超えた場合は成績評価の対象外となる。

テキスト(Textbooks)

特に指定しない。授業時に必要に応じてプリントを配布する。

参考文献 (Readings)

1. 岩上真珠、2013、『ライフコースとジェンダーで読む家族(第3版)』、有斐閣 (ISBN:978-4-641-17396-5)
2. 藤村正之編、2011、『いのちとライフコースの社会学』、弘文堂 (ISBN:978-4-335-55149-9)
3. 岩上真珠、池岡義孝ほか編著、2017、『変容する社会と社会学—家族・ライフコース・地域社会』、学文社 (ISBN:978-4762027062)

他は、必要に応じて、随時紹介する。

その他 (HP 等) (Others(e.g.HP))

注意事項 (Notice)